

お待たせしました。

宮城県美術館の新しいスタートです。

「おひさしぶり」の皆さまも、

「はじめまして」の皆さまも、

宮城県美術館の「これから」をご一緒に。

# Re:

宮城県美術館  
The Miyagi Museum of Art

## 2026.6.20 [Sat]



### 》開館時間

午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)  
※レストラン・ショップの営業時間は、開館時間に準じます。

### 》休館日

月曜日(祝日の場合はその翌日)  
年末年始/メンテナンス期間  
●その他、臨時休館する場合があります。

### 》料金

所蔵品展	
一般	350円(280円)
小学生、中学生、高校生、 大学生及びこれに準ずる者	無料

- ( )内は、団体(20名以上)の料金
- 所蔵品展無料観覧日:9月の第3月曜日(敬老の日)、10月最終土曜日とその翌日の日曜日(東北文化の日)、11/3(文化の日・開館記念日)
- 特別展料金は5、6ページをご覧ください。

### 》観覧料の減免

- 小・中・高校の教育課程に基づく学習活動の引率者(要事前申請)
- 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳保持者と付添者
- キャンパスメンバーズ加入校の学生等

### 》交通案内

- 地下鉄利用 仙台市地下鉄東西線「国際センター駅」または「川内駅」下車、徒歩約7分。
- せんだい市バス 仙台駅西口バスプール9番乗り場より730系統・739系統のいずれかに乗車、「二高・宮城県美術館前」下車徒歩約3分。
- るーぶる仙台バス 仙台市内の観光スポットを結ぶ循環型バス。当館の最寄り「国際センター駅・宮城県美術館前」。
- タクシー利用 仙台駅から約10分。
- 高速道路利用の場合 東北自動車道・仙台宮城ICより仙台方面(仙台西道路)に入り、仙台城跡方面を経由し約15分。



The Miyagi Museum of Art

宮城県美術館

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 Tel:022-221-2111 Fax:022-221-2115  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/> [https://x.com/miyagi\\_bijutu](https://x.com/miyagi_bijutu)



# おまたせ、ただいま。



## もっと出会える美術館

展示室と収蔵庫を拡張  
より多くの作品と出会える場所へ

- A 見える収蔵庫** ⇒ P.3へ  
作品保存の舞台裏が見える空間。保管されている作品を、ガラス越しに鑑賞することができます。
- B 新しい展示室** ⇒ P.3へ  
地下1階には展示室5・6を新設。主に所蔵品展や絵本原画の展示を行います。



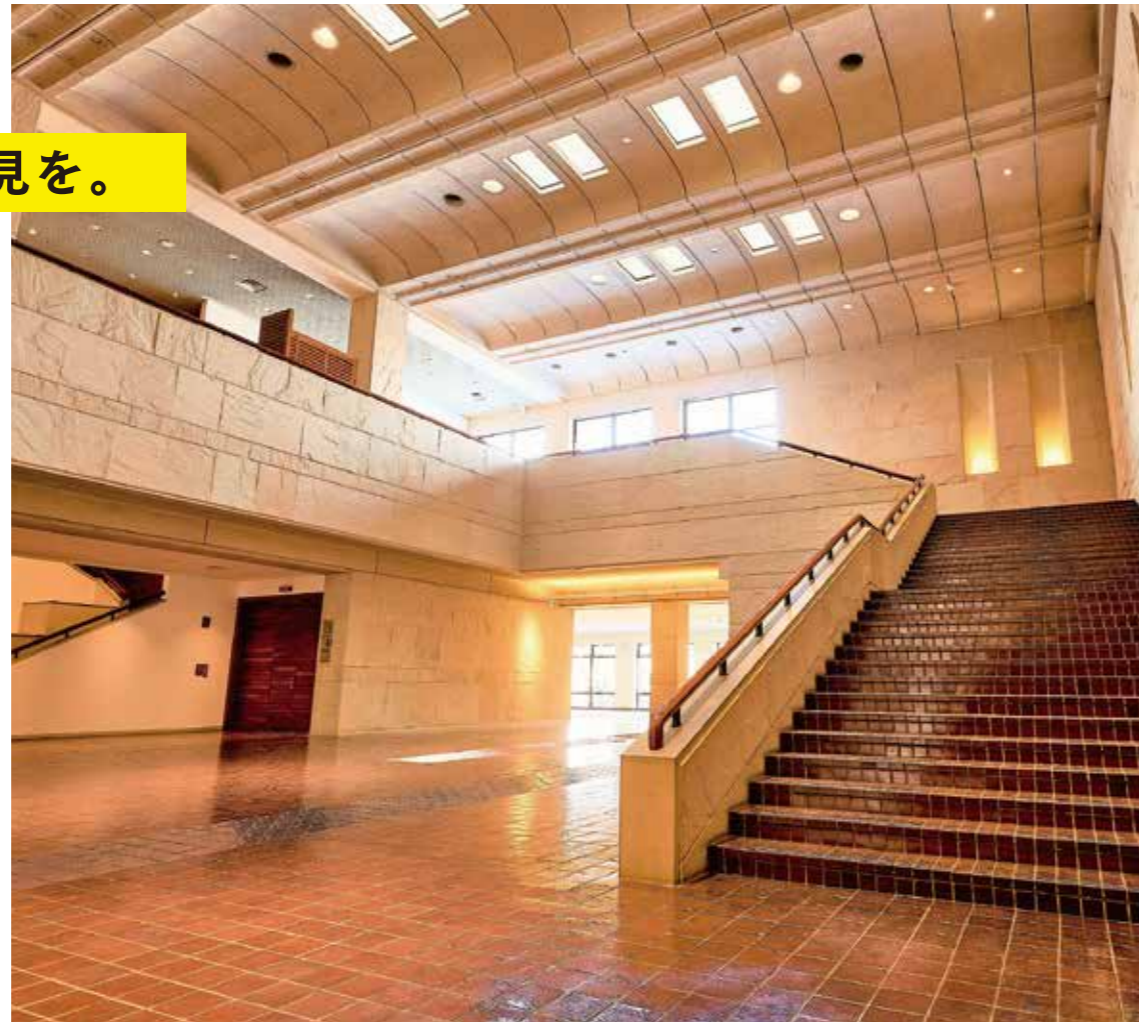
### 訪れるたび、 新たな出会いと発見を。

大切なコレクションを、  
未来に伝えていくために。  
あらゆる方が、美術との出会いを  
楽しめるように。

2026年6月、宮城県美術館は  
大規模な改修を経て再出発します。

老朽化した設備の更新に加え、作品の魅力を  
さらに引き出す新しい展示室や見える収蔵庫、  
子どもの美術体験を創出するキッズスタジオに、  
ゆったりと過ごせるアート・ラウンジなど、  
多彩な設備も加わりました。

これまででも、これからも  
新しい時代の「ひらかれた美術館」へ。



## もっとやさしい美術館

誰もが安心して過ごせる  
快適な空間へ

トイレや授乳室などの更新や新設を行いました。さまざまな  
方にとって使いやすく、過ごしやすい空間を目指しました。

- C** トイレの更新、授乳室やおむつ替台の新設
- D** 県民ギャラリーの移設とアクセスの向上 ⇒ P.4へ
- E** レストラン・ミュージアムショップのリニューアル
- F** エレベーター更新によるバリアフリー動線の向上



## もっと楽しむ美術館

「つくりたい」「知りたい」に応える  
大人も子どもも美術に親しめる場所へ

- G キッズスタジオ** ⇒ P.4へ  
子どもたちが自由に創作活動を楽しめる場所です。  
週末には、体験型イベントを随時開催します。
- H アート・ラウンジ**  
美術や美術館に関するさまざまな情報に触れられる、  
学びとつろぎの空間です。



# R 生まれ変わった空間で、 あたらしい発見を。



New

## 見える収蔵庫

アートの“舞台裏”に  
出会う

リニューアルで新設された「見える収蔵庫」では、作品が保管されている様子を見ることができます。「作品を保存し、後世に伝える」という美術館の大切な役割を発信していきます。



展示室6

New

## 展示室5・6

地下1階に新しい展示室ができました。展示室5には、引き出し型の展示ケースを導入し、作品保護と鑑賞を両立させた展示を行います。また、展示室6には、反射が少ない「低反射ガラス」の壁面ケースと、作品の特性に合わせて光を微細に調整できる照明を備えました。所蔵品展や特別展の会場として使用します。



展示室5

階段を降りると  
見える収蔵庫が！



New

## 地下1階へと降りる 螺旋階段

Renewal

## 展示環境もリフレッシュ

### これまでの展示室も 装い新たに

45年にわたり当館の展示活動を支えてきた2階・1階の展示室も、壁、床、天井を新調しました。2階展示室の壁面ケースに反射の少ないガラスを導入し、より鮮明に作品を鑑賞することができるようになりました。

### 本館照明の LED化

本館照明を全てLED化しました。これによって電力消費量を抑え、環境に配慮しました。併せて、館内外の照明計画を刷新し、建物や作品がより美しく見えるようになりました。

# 美術館ならではの みて、つくって、感じる空間。



New

## キッズスタジオ

### 子どもたちが 美術と友だちになれる場所

子どもと保護者が使えるスタジオです。予約不要、入室無料です。リサイクル資材などを使って、工作やお絵描きができます。週末には、体験型プログラムを随時開催します。



小さな  
お子さんにも安心

### えほんのへや

キッズスタジオ内には、乳幼児から楽しめる「えほんのへや」があります。親子でつろぐことができます。

いろいろな作品を楽しんで！  
みんなのギャラリー



Renewal

## 県民ギャラリー

個展やグループ展の会場として、作品の展示に利用できるギャラリーです。場所を1階キッズスタジオの隣に移設し、明るい空間に生まれ変わりました。

※利用料金、利用条件など詳細はウェブサイトをご確認ください。

気軽にきてみて！  
みんなの創作スペース



創作室2

## 創作室

予約不要、無料で気軽に使える部屋です。室内にある道具や機材を使って、創作活動ができます。必要な材料や道具はご持参ください。

※キッズスタジオ及び創作室の開室日時、イベント等の詳細は、ウェブサイトをご確認ください。



オープニング特別展

本館2階、1階、地下1階、佐藤忠良記念館展示室

宮城県美術館  
リニューアル  
オープン

全館 コレクションで魅せます  
美術の時代

宮城県美術館は今年、開館から45周年を迎えます。開館当初、約700点だった当館のコレクション(所蔵品)は、現在約7,000点になりました。リニューアルオープン第一弾となる本展覧会では、開館以来培ってきたコレクションの中から、国の内外やジャンルを問わず、同時代の作品を同じ空間で展示し、新しくなった美術館全館を使って、時代とともに変化する近現代美術のダイナミズムとその魅力を紹介します。会期中は展示替えを行い、後期からは特別出品作品も加え、当館の日本近代美術コレクションにとって鍵となる作家に焦点を当て、深掘りするコーナーも設けます。

会期 2026年6月20日(土)～8月23日(日)

休館日 月曜日(7月20日(月・祝)は開館)、  
7月14日(火)、7月21日(火)

会期中展示替えあり  
前期 6月20日(土)～7月12日(日)  
後期 7月15日(水)～8月23日(日)

※カンディンスキーの作品は前期のみの出品となります。※特別出品の作品は後期のみの出品となります。※その他、展示替えする作品があります。



【～1920年代:明治・大正から昭和へ】より  
左:ヴァシリー・カンディンスキー『「E.R.キャンベルのための壁画No.4」の習作(カーニバル・冬)』  
1914年(前期のみ展示)  
右:尾竹竹坡『月の潤い・太陽の熱・星の冷え』1920年

【1930～40年代:昭和初期、戦中戦後】より  
左:松本竣介『画家の像』1941年  
右:[特別出品]松本竣介『立てる像』1942年  
神奈川県立近代美術館蔵(後期のみ展示)

料金 一般 700円(560円) 学生、高校生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金

所蔵品展

本館1階、地下1階、佐藤忠良記念館展示室

当館のコレクションから、選りすぐりの絵画や彫刻を会期ごとに特色を設けて紹介します。リニューアルで誕生した地下1階展示室も加わり、さらにパワーアップした所蔵品展で、作品との新たな出会いをお楽しみください。

2026年度 第1期 2026年9月2日(水)～11月3日(火・祝)  
2026年度 第2期 2026年11月7日(土)～2027年1月31日(日)  
2026年度 第3期 2027年2月4日(木)～4月11日(日)



パウル・クレー『力字値のつりあい』  
1935年



長谷川清二郎『猫』  
1966年



佐藤忠良『帽子・夏』  
1972年

特別展

本館2階展示室

カンディンスキー 世界は鳴りひびく  
— 日本のコレクションでたどる画業と反響 —  
2026年9月12日(土)～10月28日(水)

当館のコレクションの顔、カンディンスキーの待望の回顧展です。色と形が響きあい、魂を揺さぶる絵画はどのように生まれたのか。二つの世界大戦に翻弄されながら、ミュンヘン、モスクワ、パウハウス、パリと舞台を移す中で、その作品世界には何が流れ込んだのか。日本人はカンディンスキーとどのように関わり、何を受け取ったのか。国内各所に所蔵される充実した作品群により、抽象絵画を切り拓いた画家の軌跡をたどります。



ヴァシリー・カンディンスキー『支え無し』  
1923年 ポーラ美術館蔵

料金 一般 1,300円(1,100円) 学生 1,100円(900円)  
小・中・高校生 650円(500円)  
※( )内は20名以上の団体料金

いま、私は現代アートと出会う  
2026年11月14日(土)～2027年1月24日(日)

本展覧会では、ある一人のコレクターが蒐集したコレクションの中から、草間彌生、奈良美智、村上隆、アンディ・ウォーホルといった現代アートを代表する作家の作品約70点をご紹介します。色やかたち、光や線、人、風景、記憶といったシンプルなキーワードで、戦後から現代にかけての多様な美術表現に触れることができる展覧会です。



香月美菜 (S:21:10) 2021年  
©Mina Katsuki photo by Kenryou Gu

料金 一般 1,500円(1,300円)  
学生 1,300円(1,100円)  
小・中・高校生 750円(600円)  
※( )内は20名以上の団体料金

棟方志功展(仮)

2027年2月6日(土)～3月28日(日)

青森で芸術家を志し、やがて世界的評価を確立した棟方志功。本展覧会では、一般財団法人棟方志功記念館の所蔵品を中心に、「板画」「倭画」「デザイン」など多岐にわたる棟方の芸術世界をご紹介します。さらに棟方に大きな影響を与えた青森の風土や文化、棟方の芸術人生や人となりについても、貴重な資料を通して紐解きます。



棟方志功  
《天乃字受女之美古登の図》  
1972年  
一般財団法人  
棟方志功記念館蔵

料金 一般 1,500円(1,300円)  
学生 1,300円(1,100円)  
小・中・高校生 750円(600円)  
※( )内は20名以上の団体料金

学び・参加

創作室プログラム

■ トライ・デー  
当館スタッフが、さまざまな素材や技法に親しむ創作体験や、鑑賞プログラムを行います。

■ ワークショップ  
アーティストやさまざまな領域の専門家を講師に招き、開催します。

他にもいろいろ  
詳細はウェブサイト!

それぞれのイベントやプログラムの詳細、日程、実施形態、申込方法等については、こちらをご確認ください。



キッズスタジオ・プログラム

■ ミュージアム探検  
展示室や建物の中、野外彫刻が並ぶ庭を、当館スタッフと一緒に巡ります。

■ チャレンジ・キッズ・プログラム  
素材遊びや造形体験を通して、「みる」「つくる」「かんじる」ことを楽しみます。

■ キッズ・ワークショップ  
アーティストと一緒に活動します。

ギャラリー・トーク

所蔵品展や特別展において、学芸員が作品についてお話しします。



各種講座

さまざまなテーマを設けて実施する公開講座です。学芸員や専門家の講話を通して、当館のコレクションや美術への理解を深めることができます。

- ▶ 講演会 ▶ みやぎ県民大学
- ▶ 美術館講座 ▶ まちなか美術講座 など

見える収蔵庫体験

美術館の収集・保存活動の舞台裏を知ることができます。作品に囲まれながら、学芸員の話をお聞かせいたします。